

### 通期の見通し

平成 22 年度の販売電力量については、第 3 四半期までの実績を踏まえ、平成 22 年 10 月にお示しした想定値 (2,960 億 kWh) を若干下回る 2,953 億 kWh を見込んでおります。

売上高は、前回公表した想定値 (連結 : 5 兆 3,850 億円程度、単独 : 5 兆 1,650 億円程度) を変更しておりません。

一方、費用面では、電気事業において、柏崎刈羽原子力発電所 5 号機の発電開始による燃料費の減少などが見込まれます。

これらにより、経常利益は連結で 2,400 億円程度、単独で 2,000 億円程度、当期純利益は連結で 1,100 億円程度、単独で 900 億円程度に変更いたしました。

### 収支諸元表 (単独)

	22年度 (今回見通し)	22年度 (前回見通し)
販売電力量 (対前年度増減)	2,953億kWh (5.4%増)	2,960億kWh (5.6%増)
原油価格(全日本CIF)	83 <sup>ドル</sup> /バレル程度	80 <sup>ドル</sup> /バレル程度
為替レート(インターバンク)	86円/ <sup>ドル</sup> 程度	87円/ <sup>ドル</sup> 程度
原子力設備利用率	57%程度 <sup>(注2)</sup>	58%程度 <sup>(注1)</sup>
出水率	101%程度	100%程度

(注1) 柏崎刈羽原子力発電所については、全 7 基のうち 1 号機・6 号機・7 号機の運転計画を織り込み算定したものの。

(注2) 柏崎刈羽原子力発電所については、全 7 基のうち 1 号機・6 号機・7 号機に加えて 5 号機の運転計画を織り込み算定したものの。